

2020年12月1日

アジア・パシフィック地域におけるガバナンス強化のための子会社設立について

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁、以下「当社」）は、アジア・パシフィック地域における更なるガバナンス強化のため、シンガポールに全額出資子会社 Mitsubishi Chemical Holdings Asia Pacific Pte. Ltd.（以下「新会社」）を設立いたしました。

当社は、中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision 30」で掲げるグローバルマネジメントの深化に向けて、各国・地域における内部統制やコンプライアンス等の管理体制の構築を進めております。米州、中国、欧州では、各国・地域において当社としての代表機能、リスク管理及びコンプライアンスの確保を担う統括会社をすでに設立しておりましたが、今般新会社を設立することで、アジア・パシフィック地域におけるガバナンスの整備・強化を図ります。

【新会社の概要】

社名	Mitsubishi Chemical Holdings Asia Pacific Pte. Ltd. (三菱ケミカルホールディングスアジアパシフィック社)
所在地	シンガポール
事業開始	2021年1月(予定)
資本金	1.5百万US\$ (当社100%)
代表者	仙波 靖雄 ※2021年1月就任予定

以上

お問い合わせ先
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室
電話：03-6748-7140